脳梗塞

予防法･部位別症状の違い

脳神経外科　白石俊隆

脳卒中

脳卒中を疑った時には：受付の人は、家族に尋ねてね。

年齢、性別
発症：いつ、どこで、誰が、何をしている時に、どんなふうな発症

いつ：発症したのはほんとうに、その瞬間か？
　　誰が見たの？

どこで：家の中、外、トイレ、風呂、道路
　　どうしてそこにいたの？

誰が：本人だけ、誰かがそばにいた？

何をしている時：何もしてないなんてことはあり得ない。追求する

どんなふうに：特に突然かどうかは大切で、突然でないと脳卒中ではない
　　薬はのんでる？

神経症候を持った患者

- 脳卒中
  - 脳静脈血栓症
  - 脳梗塞
    - 原因不明
    - ラクナ梗塞
    - アテローム血栓性脳梗塞
    - 心原性脳塞栓症
    - その他の梗塞
      - 血管炎（炎症性）
        - 高安病
        - SLE
        - PN
        - 髄膜炎
      - Arteropathy（非炎症性）
        - もやもや病
        - FMD
        - 動脈解離
        - 放射線照射後
      - 血液疾患
        - AT-III欠損症
        - DIC,TTP
        - 経口避妊薬
        - Protein C欠損症
        - 抗リン脂質抗体症候群
      - 片頭痛
      - 外傷
      - 静脈血栓症
      - 肺疾患
      - 医原性
      - その他
  - 脳出血
    - 高血圧性,アミロイドアンギオパチー,脳動脈瘤,脳血管奇形,もやもや病,
- 非脳卒中
  - 慢性硬膜下血腫,心因性,脳腫瘍
  - 頭部外傷,脱髄(MSなど),けいれん／Toddの麻痺,TGA,代謝性疾患,脳炎・髄膜炎,周期性四肢麻痺,頚髄症

	心原性脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞	ラクナ梗塞
割合	30 - 40%	30 - 40%	30 - 40%
発症形式	突発完成、重症	段階進行	比較的緩徐、軽症
既往歴、危険因子	心房細動や弁膜症	高血圧、糖尿病、高脂血症	高血圧、糖尿病
合併症	心不全	虚血性心疾患、下肢動脈閉塞症	特になし
内科的治療	抗凝固薬	抗血小板薬	慢性期に降圧薬など
外科的治療	なし	ステント、内膜剥離術	なし

脳梗塞の予防

- 一次予防

A.生活習慣の修正

禁煙

身体活動

食事/栄養

アルコール

薬物乱用

誘引の除去

B.危険因子の修正

高血圧

糖尿病

脂質異常症

心臓病

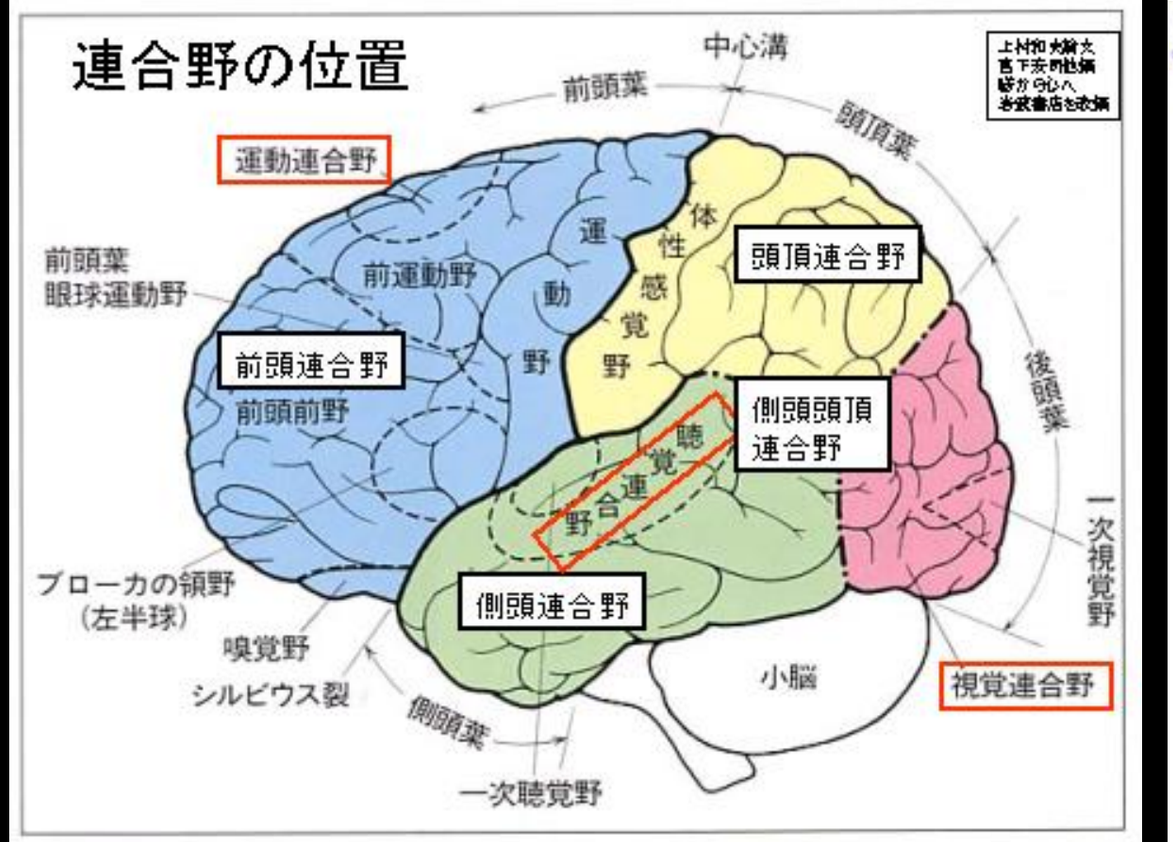
TIA

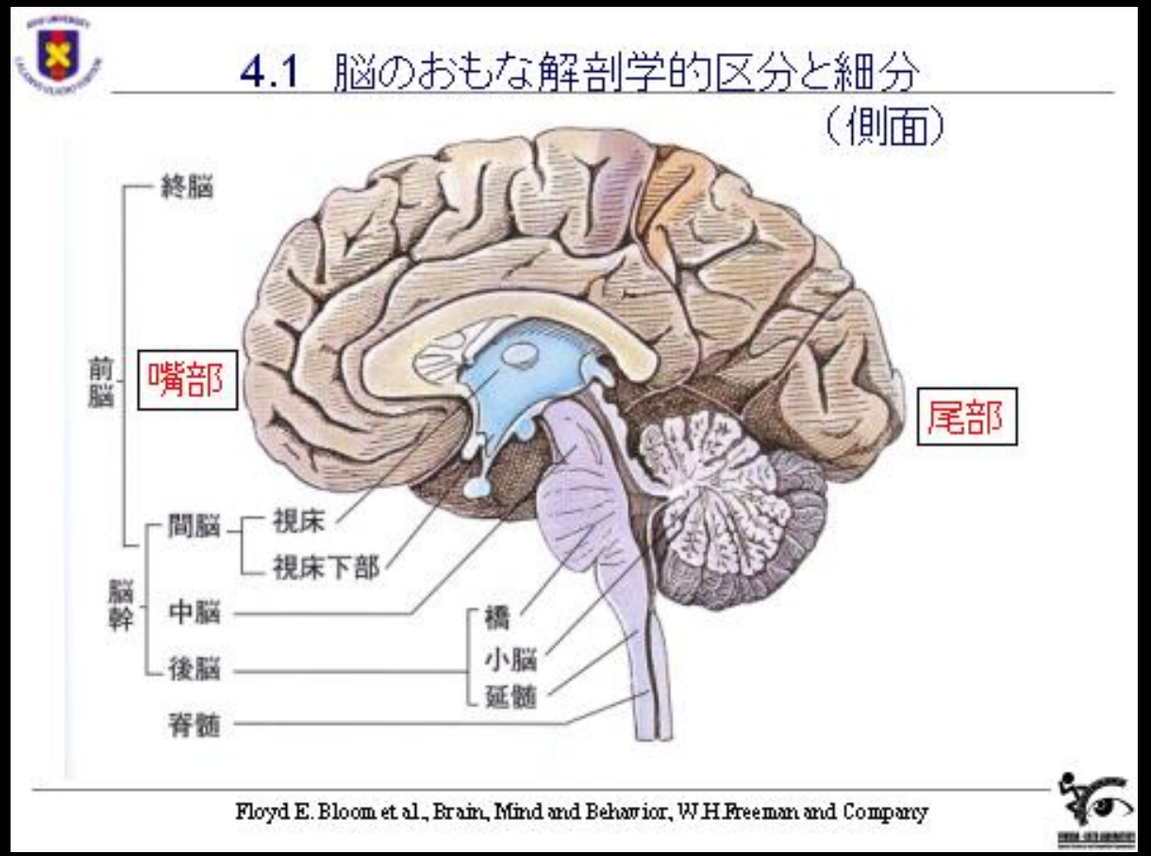
無症候性頚動脈狭窄症

経口避妊薬

肥満

抗血小板療法：不要な投与





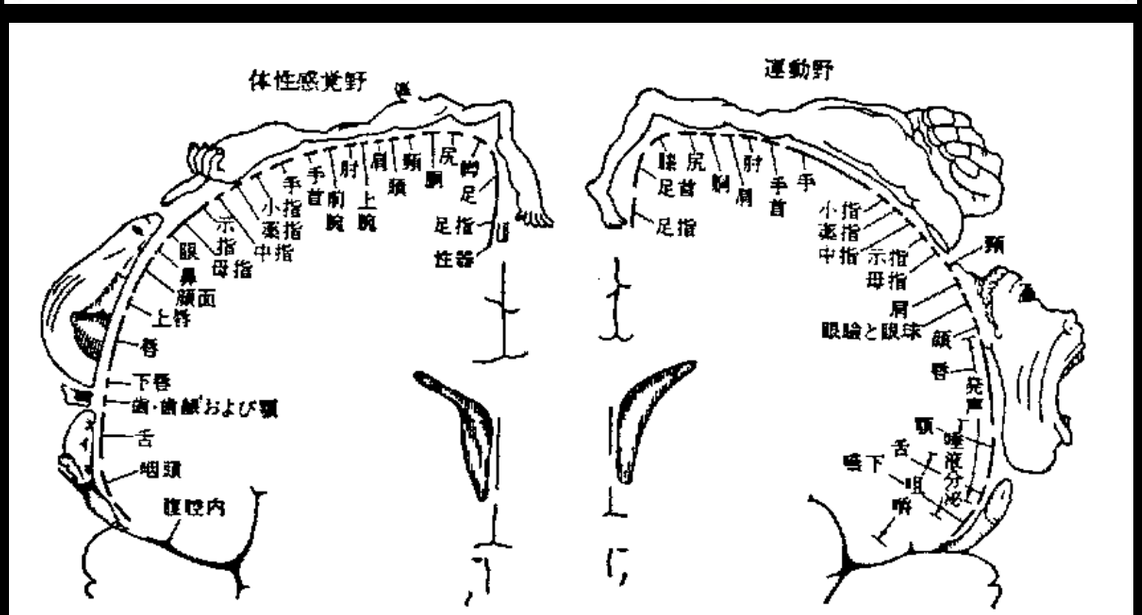
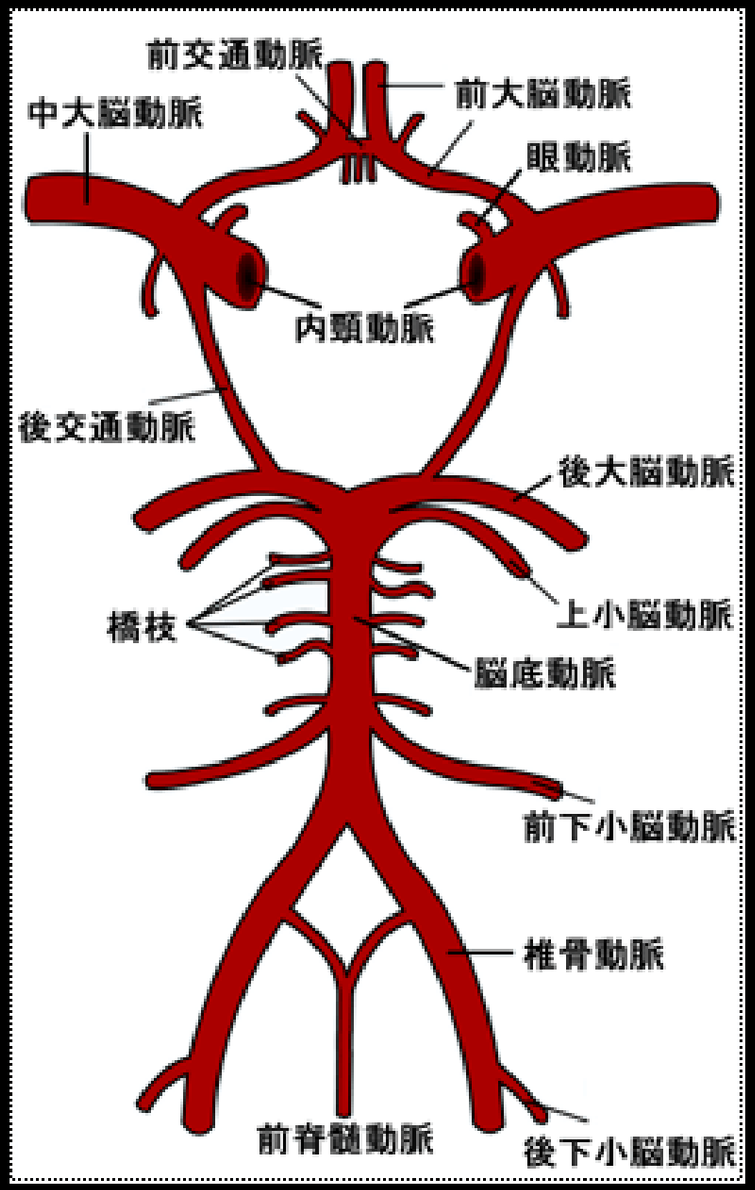
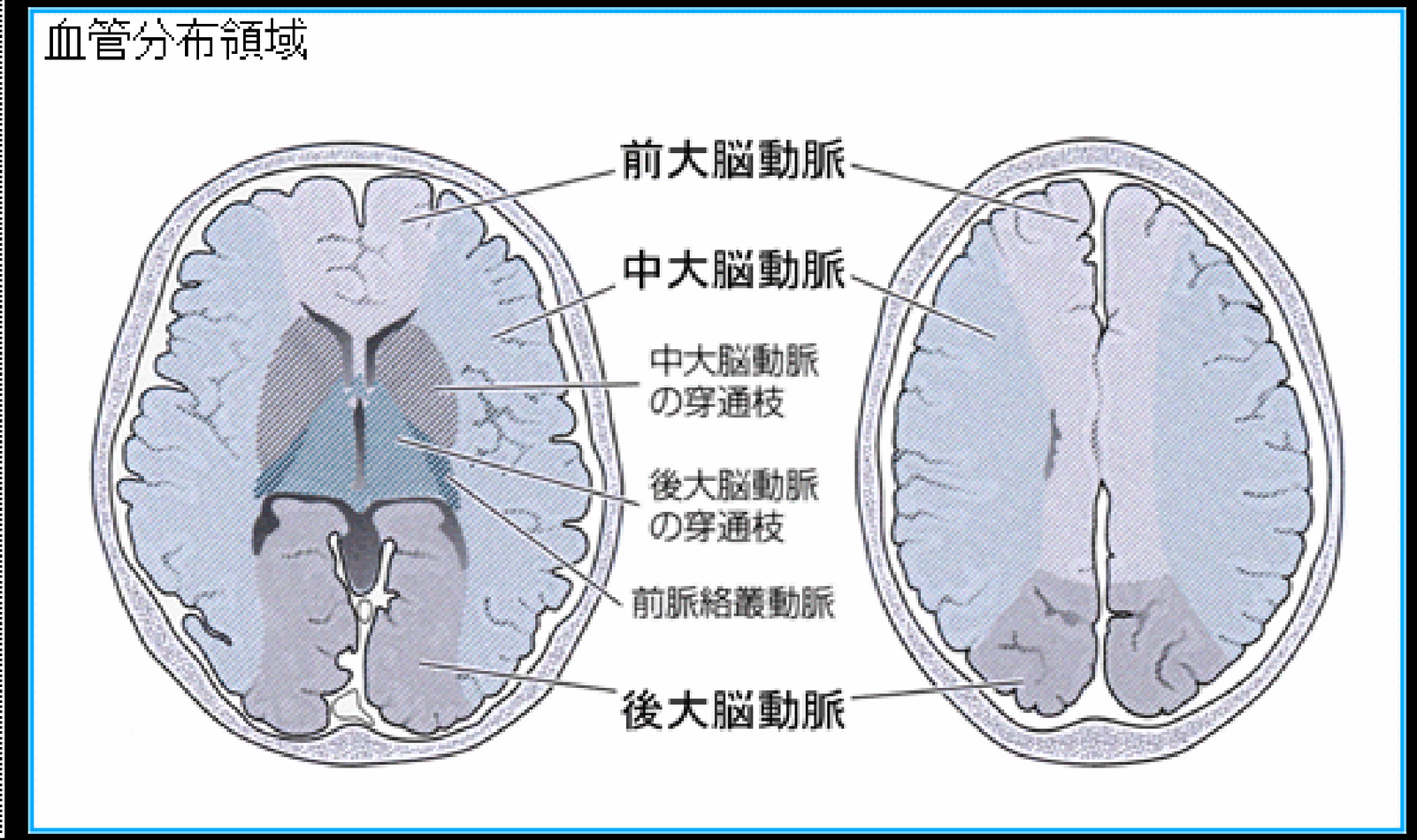


図19. 人間の運動野と体性感覚野の分業
（時実・1962によるPenfieldの研究からの引用）


前交通動脈
前大脳動脈
中大脳動脈
眼動脈
内頸動脈
後交通動脈
後大脳動脈
上小脳動脈
橋枝
脳底動脈
前下小脳動脈
椎骨動脈
前脊髄動脈
後下小脳動脈


血管分布領域
前大脳動脈
中大脳動脈
中大脳動脈
の穿通枝
後大脳動脈
の穿通枝
前脈絡叢動脈
後大脳動脈

脳の血管支配と神経症状

・前大脳動脈下肢に強いた片麻痺、感覚障害、無言・失語、無動性無言（両側）

・後大脳動脈

同名性半盲、純粋失読（優位側）、半側空間無視（劣位側）、相貌失認（劣位側または両側）

・中大脳動脈

対側の高度片麻痺、感覚障害、意識障害、失語（優位側）、

半側空間無視（劣位側）、病態失認（劣位側）、着衣失行（劣位側）

・前脈絡叢動脈

片麻痺、半側感覚障害、半盲

・ 内頚動脈～眼動脈

一過性黒内障

紫陽花